

# JB Customer Report

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

お客様の  
ご紹介

## 旭ヶ丘ふれあいセンター様

旭ヶ丘ふれあいセンター様へ2020年4月に導入されたLX-10000について、村井様へお話しを伺いました。



## 地域の要望を叶えるために

旭ヶ丘ふれあいセンターは、地域と密接なつながりを持ち、人と人の繋がりを大切にしたいと考え、文化祭や体験教室などのイベントを行っています。施設内の事務的な印刷以外にも地域住民の方の印刷請負を行っています。当センターで使用していた印刷機は印刷スピードはとても速く、片面印刷でのチラシなどでは非常に活躍してくれますが、片面ずつしか印刷ができないので両面印刷を行う時にはやや不便でした。また、部ごとに印刷が行えないので印刷後に手作業で仕分け作業を行う必要がありました。さらに、様々な方の出入りがあるためあらゆる印刷に対応したり、複数ページの印刷物を何部か作成したりする機会が多いため、印刷に時間がかかってしまう事がしばしばありました。

地域の方の要望に柔軟に対応すべく導入を決めたのが、高速インクジェット複合機LX-10000です。印刷機と同等スピードの毎分100枚の印刷ができる事に驚きましたし、複数ページ原稿もコピー感覚で簡単な操作で使用できる為、以前よりとても早く印刷作業が終えられています。また、当センター内で定期的に会議や自治会の資料を60～70部印刷したり、センターに講師を招いて講座やセミナーを開催したりすることがあり、その資料作成時にもスピードが求められますが、臨機応変に対応できるようになりました。LX-10000はインクジェットの複合機ですが、高解像度であるため細かい文字が再現でき、普通紙でもかなり綺麗に印刷が可能のためメイン機として十分使用できますね。しかし、現在はコロナ禍で通常年間15回ほど開催しているイベントや、年間10回ほど行うワンコイン講習会も数回しか開催できていないので、本来のLX-10000の本領がまだ発揮させられていませんが、地域との関係性が深い当センターにとってはぴったりの機械です。

## あらゆる用紙への対応が可能に！

当センターでは、通常教務内での印刷以外に地域住民の方の印刷の請負にも柔軟に対応するため、試行錯誤しながらあらゆる印刷の要望に添えていました。しかし、過去に旭ヶ丘地区のイベント写真をプリントしたいという要望を受けた際に、持参用紙が定型サイズの用紙ではなかったのでコピー機本体で用紙のサイズを設定しようと思いましたが、用紙サイズの設定変更方法が分からず地域の方の印刷要望を叶えられなかったことがありました。今回導入したEPSONのLX-10000は、定型サイズの登録が多く、多彩な用紙種類に対応しているだけでなく、定形外の用紙設定も簡単に設定できるため、あらゆる用紙を使用した印刷要望にも添えていきたいですね。ハガキサイズの印刷要望も多かったため、今後は1分間に100枚の高速印刷が可能で、年賀状印刷やダイレクトメールなどの印刷要望にも対応していきたいですね。

## 内製化も視野に入れて…

旭ヶ丘地区では年に数回「あさひ夢のまちだより」という広報誌を発行しています。原稿校正を自分たちでは出来ないため、校正から印刷までをすべて外注しています。これまでは内製化することは視野に入れていませんでしたが、ジムプレーンで原稿校正が出来ることや用紙の提案もしてもらえると聞いたので、地域の方により親しみやすく内容が伝わりやすい広報誌作成を目指し、LX-10000を使用して当センターの特色を全面に出せるように、今後は内製化も視野に入れていきたいと思っています。



## 営業担当者の声

LX導入により、作業効率が良くなったと好評を頂けたことをとてもうれしく思います。仕上がった印刷物を実際に手に取られる地域住民の方々の要望にも応えられるように、都度課題をキャッチアップして解決に努めていきたいと思っています。今後も、お客様のお客様にまで幅広く価値をご提供できるような提案をしていきます。



営業担当：田中大裕